

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社オレンジスピリッツ	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	4名
事業概要	クラウドサービスの企画・開発・販売・運営		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク就業規則
テレワーク担当部署	総務
テレワーク対象者	全員
実施者数	4名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

- テレワークという言葉が普及する以前より、在宅ワークを取り入れて業務を行っていた。
- 初めの頃は体調が悪く通勤が困難な場合のみの限定的な導入だったが、週1日のテレワークから徐々に拡大し、週4日のテレワーク(週1日出社)をしていた頃に、コロナの脅威に直面し、完全在宅ワークに移行した。
- 以前からテレワークが身近な環境だったため混乱も少なくスムーズに移行することができ、テレワークについて社内アンケートを実施したところ、満足度が高いことがわかった。コロナ終息後も継続してテレワークを実施していく予定。

テレワークの概要・特徴

- 月1回全体会を行い、zoomで顔を合わせたのコミュニケーション
- 1on1でのコミュニケーション
- 月1回有志メンバーでのオンラインランチ会
- ホラクラシーの導入
- 業務を円滑に進めるため、バーチャルオフィス、zoom、Chatwork、Trello、WiSTANTなど様々なツールの活用

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ①効果
 - 求人の応募率UP
 - 余暇の充実
- ②削減費用
 - オフィス賃料をバーチャル契約に変更して95%削減
 - 通勤手当100%削減
- ③社内アンケート結果
 - ちょっとした体調不良の時は休憩しながら業務を行える
 - 電車通勤のストレスがない
 - お手洗いが自分専用
 - 出社にかかる準備が最低限で済む
 - 仕事の合間に家の用事を済ませられる
 - 通販で買った荷物を受け取りやすい
 - リフレッシュしやすい、家族と過ごす時間が増えた